

バレエを生きる。
それは、愛より強い想い。

Tout près des
étoiles

Les danseurs de
l'Opéra de Paris

Avec la participation de CANAL + et du Centre National de la Cinématographie du MINISTÈRE DE LA CULTURE ET DE LA COMMUNICATION Direction de la Musique, de la Danse, du Théâtre et des Spectacles. Avec le concours de l'Opéra National de Paris Images Dominique LE RIGOLEUR et Nils TAVERNIER - Photographes Vincent TESSIER - Montage Florence RICARD - Son Denis MARTIN et Xavier PIRROËLLE Directeur de Production Pierre CARRIQUE - Directeur de Post-production Abraham GOLDBLAT Produit par Frédéric BOURBOULON, Agnès LE PONT et Agathe BERMAN © Little Bear / Gaïa Films - 2000

—— パリ・オペラ座、美しく過酷な物語。

エトワール

監督：ニルス タヴェルニエ

出演：マニュエル・ルグリ、ニコラ・ル・リッシュ、オーレリ・デュボン、ローラン・イレール、アニエス・ルテステュ、ジョゼ・マルティネス、エリザベット・プラテル、ノエラ・ポントワ、ミテキ・クドー、藤井美帆

supported by *Cartier*

Un film de Nils Tavernier

監督・撮影：ニルス・タヴェルニエ 撮影：ドミニク・リゴレー モノクロスチール写真：ヴァンサン・テシエ 編集：フローレンス・リカール 製作：フレデリック・ブルブロン、アニエス・ルボン、アガット・ベルマン 2000年/フランス/35mm/カラー/アメリカン・ヴィスタ/Dolby SR/1時間40分/原題：Tout près des étoiles/協力：ベルチュ・アソシエイツ/後援：フランス大使館文化部/協賛：Cartier/配給：キネティック www.kinetique.co.jp K I N É ■ ■ I Q U E



パリ・オペラ座バレエ、 華麗なるダンサー達の真実が胸を打つ。

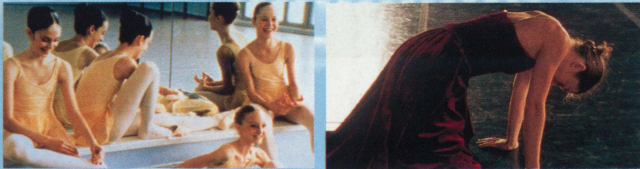
エトワールの輝きに魅せられたダンサーたちの、身を焦がす情熱を描き出すパリ・オペラ座物語。

supported by *Cartier*

エトワール

“エトワール”とは…

フランス語で“星”を意味する。パリ・オペラ座バレエでは、ブルミエ・ダンスール、スジェ、コリフェ、カドリユと続く完璧な階級社会の頂点を表わす最高位を“エトワール”と呼ぶ。



2000年/フランス/35mm/カラー/アメリカン・ヴィスタ/Dolby SR/1時間40分/原題:Tout près des étoiles/日本語字幕:加藤リツ子
後援:フランス大使館文化部/協賛:Cartier/配給:キネティック © Little Bear - Gaia Films - 2000 www.kinetique.co.jp

究極を見せます。決して見逃せない話題作!

パリ・オペラ座 初のドキュメンタリー・フィルム

初夏、ロードショー!!

* 上映スケジュールは劇場にお問合せ下さい

特別前売鑑賞券 1500円

(当日一般1800円の処) 好評発売中!

劇場窓口、チケットぴあ、ローソンチケット
各主要プレイガイドにて発売中

◆劇場窓口にてお買い上げの方には
ポストカードをプレゼント (限定数)

300年以上の歴史を持つパリ・オペラ座舞台裏に初めて入ったムービーカメラ!

まばゆいスポットライトの下、ステージで華麗に踊る白鳥たち。舞台裏に戻った途端、「苦しい!」と言いながら彼女たちは汗でびしょりになって倒れこむ。世界一のバレエ団と言われるパリ・オペラ座バレエの舞台裏は、バリエ・ファンでなくても夢中にさせられる興奮と驚きが満ちている。フランスをはじめ各国で絶賛され大ヒットを記録した『エトワール』は、ドガの絵から抜け出したような美しいダンサー達の姿や最高峰のバレエをスクリーンいっぱいに描き出した。のみならず、300年以上の歴史を持つオペラ座でバレエに生きる者たちの内面に初めて光を当てたバレエ映画の傑作である!

「ここは弱者を押し潰す場所。このシステムに足を踏み入れたら最後、弱者にとつての居場所はない」
—ギレーヌ・テスマー(元エトワール/現オペラ座バレエ教師)

パリ・オペラ座バレエは、完璧な階級社会である。一握りの選ばれた者たちが繰り広げる苛酷な生存競争。その中で誰もが頂点を目指そうと日々超人的な努力をする。他人の怪我やアクシデントによって出演のチャンスを狙う代役たち。トウ・シューズの中で血まみれになっても、抗生物質を飲んで晴れやかな表情でステージに上がるカドリユ。あるいは、バレエを続ける人生と、結婚し家庭を持つ人生に悩むダンサー。そして、エトワールに任命されてもなお、歳月を負うごとに芸術への理解力を深めることと、衰え行く肉体という相容れないパラドックスに悩む…。これはバレエの神に愛された者と、そうでない者たちを選り分ける残酷なドラマである。



バレエ界の大スターたちの夢の競演!

出演は、モナコ・アワードでニジンスキー賞を受賞した現代随一のエトワール、マニュエル・ルグリ。そして、日本でもその公演チケットは即完売というニコラ・ルリッシュやオーレリ・デュポン、アニエス・ルテステュ、ジョゼ・マルティネス、引退の場面で涙を誘うエリザベット・ブラテルといった世界的エトワールがステージ上の華麗な姿に加え、日常の美しい素顔を見せている。かつての大スター、ノエラ・ポントワを母にもつミテキ・クドヤ、東洋人として初の団員に選ばれた藤井美帆も登場。監督は巨匠ベルトラン・タヴェルニエの息子が俳優としても活躍するニルス・タヴェルニエ。モーリス・ベジャールの「第九交響曲」、イリ・キリアンの「優い嘘」、ピール・ダルドの「祈り」他、「白鳥の湖」「ラ・シルフィード」など、実際のステージと練習風景やゲネプロを巧みに織り交ぜた演出は決して見飽きない。バレエを題材にした映画『リトル・ダンサー』の大ヒットも記憶に新しく、2003年にはパリ・オペラ座の日本公演も控える今、いよいよバレエ・ブームが到来する!

「エトワールという言葉に特別な意味はない。ただ踊ること、それこそが僕の人生だ」 — マニュエル・ルグリ (エトワール)

「バレエは体を焼き尽くす熱情。それは愛より強い想い」
— マリ・アニエス・ジロ (ブルミエール・ダンスーズ)

* 各回入替制。途中入場はご遠慮下さい。
* 毎土・日・水曜日および祝日は混雑状況にかかわらず入場整理券を発行いたします。

梅田スカイビル (空中庭園) タワーイースト4F

梅田ガーデンシネマ
06-6440-5977 www.cineplex.co.jp

